

学校の ICT 教育推進のため、各学年に 1 台「電子ボード（電子黒板）」が配置され、業者の方による研修会を行った。正直、その機能に腰を抜かした。もちろん、普通の黒板のようにも使えるが、黒板の背景色やペンの色・太さが瞬時に変わるだけでなく、平面図形や立体図形をすぐに表示したり、背景を原稿用紙にしたり、音楽の五線譜にしたり…自由自在とはこのことである。今まで苦勞してチョークで三角錐や円柱を描いていたのは何だったのか？また、子供たちの意見も自由に記入できるし、教師がコメントを付け加えることもできる。また、今までは、一度使った黒板は消すしかなかったが、電子ボードは内容の保存ができる。前の時間の学習が即時に呼び出せる。これらは、電子ボードを「単体」で使用した場合だが、これに教師用パソコンや児童に配布予定の iPad(32GB Wi-Fi モデル)をつなげたら、いったいどんなことができちゃうのか…。

新型コロナ問題によって最新機器が前倒しで一斉に配置され、Google の G suite for school という教育用アプリ使用のための ID が県から教員一人一人に与えられた。町で導入してくれた「ラインズ」という電子問題集も使えるようになる。私も人並みにパソコンやタブレットは使えると思っていたが、「ちょっと何言ってるのか わかんないんですけど…」(サンドイッチマンの富澤さん風に) となっている。

当面の学習は、ノート・教科書& iPad・パソコンなどのハイブリッド方式で進むだろうが、実際に授業をどう変えていくかは、私たちも相当な研修を積みまなければならない。期待と不安が半々である。